デジタル人材育成に関する提言2025（概要）

デジタル人材の育成は、育成がゴールではなく、真に重要なのは育成された人材が適切な就業機会を得て、その能力を余すところなく発揮できる職場環境を整備することであり、それが結果として生産性向上や賃金水準の改善につながる好循環を生むことである。そのため、既存の取組は継続しつつ、以下を重点項目とし提言する。

デジタル人材育成

◆ AI時代に即したデジタルスキル教育

- 義務教育課程からのデジタル教育においてAIに関する知識を取得できるように努めること
- 次期学習指導要領の改訂に向けてデジタル知識の習得を学習段階に応じて行うこと
- 教師に対する指導とサポート体制を構築すること

◆ いわゆる「天才」の創出

- AKATSUKI・未踏修了生のコミュニティの整備をさらに拡充させ、知の共創・仲間づくり・越境的な挑戦を可能とする環境整備を推進すること

デジタル人材が活躍するための環境整備

◆ 労働制度の実態把握・見直し

- まずは実態を把握し、裁量労働制の適用に馴染む企業が制度を適切に活用できるよう、適切な制度設計に見直していくこと

◆ 国際認証を見据えたスキル情報の蓄積と可視化

- スキル情報を蓄積・可視化し、スキルベースの人材育成とそれを支えるプラットフォームを構築すること（将来的にはマイナンバーとの連携を視野にいれること）
- 学修歴の見える化など、国際的な相互認証を視野に入れた対策を行うこと

◆ 既存の取り組みの進捗確認と課題抽出と強化

デジタル庁が社会全体のDXを推進する司令塔として実施すること